

沖縄スローライフの実現。



Slow in Okinawa

アメリカ人のハッピーリタイアメントの行く先が、アリゾナやマイアミ、カリブ諸島であるように、日本人にもその行く先があるはずである。団塊世代がセカンドライフをめざす処、そう、そこは沖縄アイランドだ。
 “沖縄で暮らす” マンションでも戸建てでもいい、空と海と光のある、懐かしいニッポン“オキナワ”へ。そろそろ、東京脱出だ！

特集

沖縄移住を楽しんでいる人たちの生活を 50 代を中心に紹介します。



農的沖縄生活

生活そのものを農的にライフデザインしていく沖縄暮らしを紹介します。



シニア世代の求める「安全な」沖縄移住

2007 年に定年を迎える「団塊の世代」は約 800 万人。いわゆるシニアビジネスが今後ますます巨大化し、また、それに応じた市場の多様性が求められています。
 毎年 2.5 万人を超える沖縄の移住人口。依然として続いている沖縄移住ブームに乗って、気候が温暖で、なおかつ医療・介護・不動産が充実している沖縄への、シニア世代の「安全な」老後移住のニーズも高まりを見せています。



厳選不動産・建設会社紹介



最新不動産物件情報



沖縄で悠々自適のセカンドライフを

これまでのビジネスに一段落をつけた団塊世代の移住。金銭的にも余裕のある彼らは、言い換えれば「富裕層移住」と言えるかもしれません。『沖縄暮らし』はそんな“セカンドライフは沖縄で”という団塊世代の知りたい、知っておきたい情報が満載。単なる住宅情報だけにとどまらず、具体的な移住のノウハウから趣味・娯楽にいたるまで、「大人の楽園」としての沖縄を読者とともに創り上げるため、幅広い話題を提供しています。

『沖縄暮らし』読者はこんな人たちです

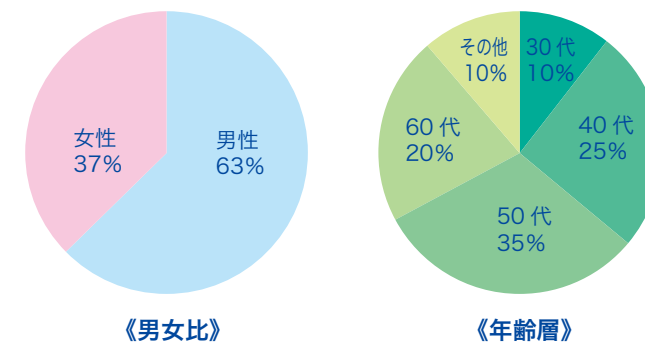
『沖縄暮らし』のターゲットとなる読者は 40～60 代の主に男性です。2007 年に定年を迎える「団塊の世代」を中心に、可処分所得が高く生活に余裕のある世代であり、老後のスローライフを沖縄で過ごすことができる人たちです。

雑誌とホームページとの緊密な連携

『沖縄暮らし』は雑誌だけでなく、ホームページも同時進行で情報を発信しています。またインターネットの即応性を存分に活用し、読者の知りたい様々な情報を随時ご紹介しています。
<http://www.okinawa-sumu.com>

その他、沖縄の建築家、健康生活情報、暮らしの雑学など情報盛り沢山です！

『沖縄暮らし』読者層比率グラフ



《男女比》

《年齢層》